

令和7年度 第4回 政策調整会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和7年11月25日（火） 10：05～10：25
 - ◆開催場所：第1委員会室
 - ◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長、谷口総務部長、
新内財務部長、池内生涯学習部長、河畑建設部長
 - ◆説明者：仲村スポーツ振興課長、中島スポーツ推進担当長、宮田担当員、
黒見公園緑地課長、的場整備担当主幹、奥担当員
-

◆審議事項

岸和田市屋内プール整備運営基本計画（案）及び

岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画（市民プール編）（案）について

・・・スポーツ振興課、公園緑地課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉市民プールの再編に関して、供用廃止後の跡地の利活用について検討を進めているところはあるか。

〈スポーツ推進担当長〉まず庁内において、市として利用することがあるのかどうかを確認し、利用の意思がなければ売却等の検討が必要かと考えている。今年度、庁内全課を対象として跡地利活用の意向調査をしている。一定意向を把握しているが、同じ土地への複数からの利用希望等、庁内調整が今後必要となるところもあり、引き続き検討課題として認識している。

〈岸副市長〉市民の健康づくりと施設の再編を同時に進めるもので、所管も2課にまたがり調整が難しく、ご苦労をかけたと思う。

廃止する施設については、市民の方に丁寧に説明をしてほしい。

また、計画の推進が遅れた場合の備えについても整理しておいてほしい。遅れた場合に補助金が使えなくなるといった影響が出ないか等も、しっかり検討してもらいたいと思う。

〈教 育 長〉学校水泳授業に関して、専門家の指導が受けられる点や、天候に左右されずに安定的にカリキュラムを進められるという点は非常に良いことである。

屋外プールについては、今の環境下では利用に堪えず、老朽化もしているということで、屋内プール整備後は廃止、除却するという方針であるが、屋内プールを実際に運用することになった際、一般利用に関して不都合があるということがあれば、民間プール開放事業を拡充するなど、リカバリーするための方策も頭に置きながら、この事業を進めていけたらと思う。

また、中央公園に行く際のアクセスが十分確保できるよう、市全体の交通体系の中で

考えていく必要がある。屋内プールができた後の利用実態を見て、十分検討していくということが必要だと思う。そこではじめて、市民の方の理解が得られるのではないかと思う。

〈財 務 部 長〉各市においても、老朽化で閉鎖するプールが多くある。その中で、民間委託を積極的に進めてきたといったところもある。民間委託についても、キャパシティに限界があると考えられる。各市が民間委託化を進めているということもあって非常に需要が高く、単価が非常に上がっているところもある。プール事業ができるだけ速やかに、安定的に執り行えるように進めてもらえればと考えている。

〈総合政策部長〉他にも建て替えが必要な施設があり、例えば他の施設では複合化という話もあったかと思うが、屋内プールについてはそういった検討はされたか。

また、自主事業エリアで屋外プールを設けるという記載があったかと思うが、一方では紫外線のリスクを避けるための屋内プールというようなところもあったかと思う。このあたりの整理について教えてほしい。

〈スポーツ推進担当〉複合化については、他市事例も踏まえるとプールと親和性の高い施設機能にはジムが1つ挙げられる。他にも体育館が挙げられるが、これらの施設については計画地に隣接している総合体育館があることから、プールとしての機能に、新たな機能を入れないということにした。また今回、市民プール、中央公園プールを再編、集約する事業であることから、公共施設等適正管理推進事業債等の有利な財源確保もできている。そういったこともあり、さらなる集約はしないこととした。

次に、屋外プールを設けるという一方、紫外線のリスク等を課題として掲げている点について、夏季は屋内プールと屋外プールを行き来しながら、両方利用してもらうことを想定している。常時屋外を利用するということではない点から、既存の市民プールとは異なった運用と考えている。事業設計の際に考慮したのが、健康リスクを抑えつつ遊戯機能を高め、楽しんでもいただく施設としての効果効用を最大限高めるという視点で、屋内外のハイブリッド型にすることとした。

〈総合政策部長〉複合化については、同じ建物の中に入れてしまうということだけではなく、エリアとしての複合化によって市民サービスが向上するということもあろうかと思うので、非常にいい計画だと思う。

本件、原案のとおり政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり政策決定会議に付議する。

令和 7 年 11 月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長、建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和6年2月に策定した「屋内プール整備方針」及び令和6年8月に策定した「岸和田市屋内プール整備基本構想」等を踏まえ、屋内プールの施設整備や運営に関する基本計画等を定めた「岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)」及び市民プール等の再編の対象施設等を定めた「岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)」について付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	仲村スポーツ振興課長 中島スポーツ推進担当長 黒見公園緑地課長 的場整備担当主幹
付議事項の概要	別紙のとおり

付議会議	令和7年度 第4回会議
付議事項	岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	天候に左右されず、年間をととして誰もが安全・安心に利用できる屋内プールを整備することにより、市民の心身の向上や健康増進、遊戯・レクリエーションの場の提供、学校水泳授業の安定的な実施等に寄与できる。

★総合計画上の位置付け

1050202	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている
	個別目標の方向性	② スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める
	行政の役割	安全にスポーツができる環境(場)を整える

★現状と課題

【現状】
・市民プール(9施設)、学校プール(3施設)及び中央公園プールは老朽化が著しく、改修が困難なプールは安全確保の観点から休止せざるを得ない状況である。
・市民の一般利用や団体利用は、酷暑の影響等により利用者数が下降の一途である。
・市民プールにおける学校水泳授業は天候に左右されやすく、安定した実施が困難な状況。また、受入キャパシティー等の理由で全ての水泳授業の民間委託は困難。
【課題】
・市民が安心・安全に水に親しむ機会の確保による、市民の健康増進やレクリエーションの機会の提供
・天候に左右されない安定的な授業の実施 学校水泳授業における市民プール利用校と民間委託校の格差是正 みんな泳げるプロジェクトの推進

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
岸和田市屋内プール整備運営基本計画及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)の策定					30,000 ※事業者公募含む				
測量、文化財調査等				14,100	30,825				
費用便益分析					16,000				
事業者公募(DBO方式)					198	132			
基本設計・実施設計						11,000	166,125		
工事							1,315,037	1,961,556	
開設準備									
供用								25,000	181,600
財源内訳	国費						660,527	927,868	
	府費								
	起債						595,000	836,000	
	一般財源				77,023	11,132	225,635	222,688	181,600
	その他								
事業費			計		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
			3,737,473		77,023	11,132	1,481,162	1,986,556	181,600

ng ng

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無	1	1	1	1	0

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①	みんなでめざそう値(スポーツ・運動を定期的【週1回以上】にしている市民の割合)	%	45.2	45.4		60.9	65			
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。